



## “死”に戸惑う医学生 (5)

### 医療法人パリアン理事長 川越 厚



いつもより少し早めにクリニックへ顔を出すと、白板の前で学生たちが何やらひそひそと話し込んでいた。どうも昨日の話のようだ。心なしか、みな硬い表情をしている。

「君たち、『パリアンでは亡くなった方を物として扱っている』と言ってるんだって？」

僕の単刀直入のやや強い口調の質問に、学生たちは戸惑ったようである。

「実習前必ず読むように言った教科書（注：昨年医学書院から上梓した「がん患者の在宅ホスピスケア」のこと）はもちろん読んだよね。死亡診断について僕はなんて書いていたっけ？」

一人、よく勉強している学生がいた。

「死亡診断は資格的に、医師と歯科医師しかできません。医師は心肺停止の患者さんを前にして、“その患者さんが今まで診ていた患者さんであり、死の三徴を確認して患者さんが確実に亡くなっていることを診断します。かつ異常死でない場合に限り、死亡診断することができ、死亡診断書を発行できます。」



100点満点の回答である。

「で、そのような条件を満たしていない場合はどうなるの？」

「死亡を確認することはできても、死亡診断することができないので、24時間以内に所轄の警察署へ届け出なければなりません。」

「で、どうなるの？」

「検視官が死体を検案し、死因がはっきりしない場合には行政解剖、事件性が疑われるときには司法

解剖を依頼します。異常死でもなく、死因が特定できる場合には解剖を省略し、医師は死体検案という形で死を確認し、死体検案書を作成することができます。」

「よく勉強したね。その通り。要するに夜中でもいつでも呼吸が止まった時、訪問診療をこれまで行っていた医師が往診して死亡診断すれば何の問題もないんだね。」

一人の学生が、まだ理解できないというような顔で質問してきた。

「でも、物として扱うのはどうかと思います。先生が昨日、ヘルパーさんたちにそのようにおっしゃったことが今でも引っかかっています。」

「なるほどね。言葉が足りなかったかな。ところで患者さんは亡くなったその後、どうなるの？」

「息子さんが来るのを待って、看護師さんは体をきれいにし、お気に入りの着物を着せていました。」

「で、その後どうなったの？」

(2ページに続く)



(1ページより)

「そこから先は見えていませんが、多分お葬式をして火葬し、お墓に入れるのだと思います。」

「そうだね。でも、どうして体を焼いて骨にするというようなことができるの。残酷じゃないの？」

学生は困ったように、「えー」と言葉を詰まらせた。やや間をおいて「亡くなっているから」と自信なさそうに答えた。

「そうだね。亡くなったということは、医師が死亡診断したから公に死が認められたことになり、火葬することができるのだよね。医師の診断によって、医学的には生きた人間が死体という物に変わる。法律的にも、生きた人間として存在しないことになるので、日本国民としての権利、義務などが一切なくなってしまう。戸籍が抹消されることになるんだ。」

「よくわかりました。パリアンの看護師さんがご遺体を生きていた時のように話しかけながら、丁寧にきれいにしていました。初めて見る光景でしたが、感激しました。」

## 1月22日に近隣の方々を招待しパリアンお披露目会開催

医療法人社団パリアンは、昨年12月28日に墨田区立川2-1-9 KHハウスに移転し、診療、訪問看護、訪問介護、介護支援専門員の業務を始めたが、1月22日(水)午後1時30分から同ビル1階で立川の町会役員の皆様や近隣にお住いの方など約20名をご招待し、お披露目会を開催した。

お披露目会は、初めに川越厚パリアン理事長が挨拶に立ち、理事長と墨田区との関わりや2000年に墨田区に設立したパリアンの経歴紹介があった。続いて、ご出席された近隣の方々の自己紹介があり、その中で「近くに医療施設ができたことで、心強く思っている」という感想が何回も聞かれた。

川越博美看護部長からパリアンスタッフとボランティアの紹介があり、各ボランティアリーダーが活動状況を説明したあと、訪問看護ステーション(2階)、川越クリニック(3階)の見学してお披露目会は終了した。



近隣の方々の前でお披露目の挨拶をする川越理事長

## 野本さんのケーキ作り勉強会、部外講師「笑いヨガ」研修会など計画

### 第4回ボランティアの集いで新年からの新企画について話し合う

お披露目会終了後に平成25年度第4回ボランティアの集いが開催された。「デイホスピス」は会場が広がったので、ご遺族などにも利用できるよう検討する。「メモルの集い」も参加者を10人程度に増やして実施するよう準備している。「聞き書き」は語り手が見つかり次第、活動を開始する。



デイホスピスで出される野本さん手作りのケーキがおいしいと大評判で、作り方を習ってデイホスピスに生かしたいという声があったため、野本さんが勉強会を開いてくれることになった。詳細は後日発表する。また、4月のボランティアの集いの研修として博美先生の知人による「笑いヨガ」を検討している。

交通実費の精算方法が変わり、申告ノートに月日、氏名、用務、金額を書いて、お金の入った箱から各自交通費を取る方法になった。これは事務手続きの省力化対策の一環として実施する。

## 伝言板



## ホスピスハワイのゼリーさんの歓迎会、2月17日に開催予定

ホスピス・ハワイのケン・ゼリーさんは、2月15日の聖路加看護大学でのセミナーや16日の松山市での講演のために来日する。18日にはパリアンで講演をしてくださり、20日にハワイに帰国する予定。そこでパリアンでは2月17日午後5時から墨田区立川のKHハウスでケンさんの歓迎会を開催することになった。

## ボランティアの手料理で「お・も・て・な・し」を計画

歓迎会は料理ができる会場で行うので、初めての試みとしてボランティアの手料理（デザートを含む）による「おもてなし」をしてはどうか、ということになりました。

ご協力いただけるボランティアの方は2月12日（水）までにボランティアコーディネーターの川越にメール（volunteer@pallium.co.jp）またはFAX（03-5669-8310）にて、ご連絡ください。なお、料理は持ち込みでもかまいません。歓迎会の案内は、別途メールまたはFAXでお知らせします。

## ラジオ日経・2月の「日曜患者学校～川越厚のがんからの出発」

・川越厚先生出演 ラジオ日経「日曜患者学校～川越厚のがんからの出発」

毎月第2日曜日 21時～21時30分(今月は2月9日)

・放送の聴き方：短波放送・ラジオNIKKEI 第1：3.925MHz、6.055MHz、9.595MHz

放送終了後は、ラジオ日経のホームページ(<http://www.radionikkei.jp/inochi/>)でいつでも聴くことができます。

## 2月のスタッフ勉強会、事例検討会の開催予定日

スタッフ勉強会：2月14日（金）17～18時

事例検討会：2月21日（金）17～18時



## 2月のボランティア活動予定

- ・訪問ボランティア：2月14日（金）午後2時30分～
- ・デイホスピスボランティア：2月7日、14日、21日、28日
- ・手作りボランティア：2月25日（火）午後1時～3時
- ・命日カードボランティア：2月20日（木）午前10時～
- ・事務ボランティア：2月15日（土）午後1時～



## 編集後記

◆1月22日、近隣町会役員さんやお住いの方々をお迎えしてパリアンのお披露目会が開催された◆その席上、出席者の多くの方々から「近くに医療施設できたことで、心強く思っている」とか「いつでも往診してくれますか」とか「介護サービスはどんな内容ですか」などの感想や質問があった◆この立川周辺も高齢化が進み、在宅でご老人の病気の治療や身の回りの世話をしてくれる身近な診療所、看護・介護ステーションの設立を待ち望んでいて、パリアンにその期待を寄せているように思えた◆パリアンは“在宅医療を提供している患者様からの連絡を24時間体制で受けることができ、いつでも往診・訪問看護を提供できる在宅療養支援診療所”であるが、現実的には末期がん患者様を中心とした在宅医療機関で、一般の医療や看護・介護はほかの医療機関や看護ステーション等にお任せしている◆地域の方々のパリアンに対する期待に応えるために、一般の医療や看護・介護が必要になった時に、パリアンがどのような対応ができるのか、期待が大きいだけに今後のパリアンに突き付けられたテーマであると思われた

パリアン公開講演会

# Community Outreach by the Hospice

通訳  
あります

## ホスピスから地域への働きかけ

講師：Kenneth L. Zeri, RN, MS



President and CPO, Hospice Hawaii(ホスピスハワイ代表)  
全米ホスピス緩和ケア協会理事

在宅がホスピスケアの中心となっているアメリカで、在宅ホスピスの看護師として30年近くの経験があり、実践家かつ管理者としてホスピスハワイで活躍中のケン・ゼリーさんに、ホスピスから地域への働きかけについてお話いただきます。

在宅ホスピスケアが地域に広がるために、専門職や地域の人々ができることについて、多くの学びが得られる機会です。ぜひご参加ください。

■日時 平成26年2月18日(火)18:00～19:00

■会場 KHハウス 1階 (墨田区立川2-1-9 医療法人社団パリアン)  
森下駅 (都営新宿線・大江戸線) A5出口より 徒歩6分

■参加費 無料

■お申込

参加者皆様のお名前、代表者の電話番号をお書きの上、下記申し込み先へメールまたはFAXにてお申込みください。

■お申込・お問合せ

医療法人社団パリアン

メール: [webmaster@pallium.co.jp](mailto:webmaster@pallium.co.jp)

FAX: 03-5669-8310

TEL: 03-5669-8302

東京都墨田区立川2-1-9 KHハウス3階

